

美術学科教授 岩井 義尚

1. 研究活動

【企画・出品】 名古屋芸術大学生涯学習公 開講座 「木彫を楽しむ part X IV」 作品展	2013. 5. 14 ～ 5. 21	北名古屋市文化勤労会館 1F 展示室	第 23 回 生涯学習講座受講生の展覧会企画・ 作品展示指導 作品出品
【出品】 2013 教員展	2013. 6. 14 ～ 6. 19	名古屋芸術大学西キャン パス A&D ギャラリー	Form 1207 「遊No.8」 樟（クス） H110 × W45 × D21

【出品・審査】 第36回中部二元会	2014. 3. 25 ～ 3. 30	愛知県美術館ギャラリー 8F (G1、G2、H、I室)	Form 1303 (個展にて発表) Form 1304 「遊No.9」 (個展にて発表) Form 1401 クス+ケヤキ H170 × W250 × D75
----------------------	------------------------	--------------------------------	---

2. 教育活動 (教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目 彫刻実技1-2 (マケット)		
<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
テーマ「流れ」「動・静」;テーマに沿って考えさせ、各自の作りたいと思う形を複数提示させひとつを決定する。作る形の芯材として針金をスポット溶接で組み、金網にて形の確定をし、石膏にて布を補強材として使い付けたり削ったりを繰り返し考えた形を作り出して行く。プロセス(段階)を使うことの大切さを伝える。	マケット(模型)は、野外彫刻(パブリックアート)や造形物・彫刻を制作する時の確認のために作られる。作品参考例として、パブリックアート作品の写真集や展覧会の画像・写真の紹介をする。	
授業科目 美術技法 クロッキー		
<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
人物に焦点し、クロッキーの要点を探るひとつの方法として、トレーシングペーパーを使う。クロッキーは短時間で形を捉えなければならない。短時間で捕らえるためには、より単純な長い線で描く必要がある。トレーシングペーパーは、基の描いたものや写真(コピー)の上に置くことにより、中心線や断面を想像して描くことが容易に行える(形を検証出来る)アイテムである。この検証方法を使いクロッキーの要点を探り、各自の目的に沿って使うことを認識させる。	絵画、彫刻、版画(木版・銅版・リトグラフ)、イラスト(アニメーションを含む)等の資料の紹介。	

3. 学会等および社会における主な活動

織田信長公 小牧山城築城450周年記念事業 小牧山史跡公園野外彫刻展 企画参加	2013. 11. 11 ~ 11. 24	出品者選考、設置場所選定、搬入展示及び搬出における企画、指導(学生出品者に対し)
第40回 岩倉市美術展	2013. 11. 1 ~ 11. 3 岩倉市体育館	彫刻・工芸部門審査(2013. 10. 31)委嘱出品